



越年アユ

アユ *Plecoglossus altivelis altivelis* (Temminck et Schlegel)

地方名： あゆ(東北全域)

- 特徴： (1)背鰭は大きく、脂鰭がある。
(2)口は大きく、両顎の歯は幼魚では円錐歯だが、成長とともに櫛状歯にかわる。
(3)成熟した個体の雌雄は臀鰭で判別ができ、雌では臀鰭の前半がやや突出する。
(4)体側に黄色の三日月形の斑紋がある。

分布： 北海道西部以南の日本各地、朝鮮半島、台湾、中国に分布

その他：

- ・川と海の間を回遊する両側回遊性の年魚で、稚魚は春に沿岸から川に上り、中流域で育つ。岩に付着した藻類を両顎の櫛状歯で削り取って食べる。
- ・秋に成熟すると、落ち鮎として河川を下り、河口近くで産卵後に死ぬ。稀に成熟せずに越年する個体がある(写真下)。
- ・釣りの対象で、塩焼きにする。

写真： 北川大二(北水研) 撮影